

ぼんた山元気楽校—開催における新型コロナウイルス感染予防ガイドライン

【開催判断】

- ・開催の場合、以下の点に留意する
 - ①国や福島県からの緊急事態宣言、自粛要請が出されていないか
 - ②開催地域の最新の感染状況
 - ③外部施設等の対応状況
- ※それぞれの対応状況の活動自粛の範囲を超えないように注意する

【開催前の対応】

- ・参加2週間前から毎日の検温実施。健康観察。
- ・併せて家族の風邪症状の有無や、家族や本人に風邪症状があった場合は医師からの診断やキャンプへの参加にアドバイスを貰う。事務局へ連絡を入れること。
- ・スタッフも同様～体調管理を徹底する。

▶参加者について

- ・参加2週間前から体温計による体温チェックとその記録をとる。
- ・参加当日、または前日などに発熱等の体調不良が見られた場合、参加を見送ってもらう。
- ・同居家族や身近な人に感染が疑われる人がいる場合は参加を見送ってもらう。
- ・マスクを必ず持参する「*マスクの取り扱いについて後述」

【開催中の注意点】

- ▶運営側の対応・「三つの密」(密閉、密集、密接)を避ける環境を作る。
 - 手指のアルコール消毒をいつでもできるように準備する。
 - 食事は隣と1m空ける。斜向かいに座る(向かい合わない)
 - 部屋に入る人数を4人までとする。
 - 換気を常に行う。
 - 部屋で荷物が混ざらないように個人でしっかり管理できるように工夫する。
 - 毎日着替えをする。チェックする。
 - 毎朝、毎夕の検温を実施する。
 - 使う資材、遊び道具等はすべて洗浄・消毒を行う。
- 全項目スタッフも同様実施。
- ・運営スタッフはマスクを着用のうえ、参加者とはでき得る範囲で一定の距離を保つよう心がける。

【開催後の注意点】

- ・使用した資材、遊び道具は速やかに洗浄・消毒をする
- ・トイレ等、使用した施設の消毒を速やかに行う
- ・開催後、万が一、参加者の感染が確認された場合、必ず主催者に連絡を入れるよう参加者に呼びかける。
- ・ **プログラム終了後2週間目に健康状態を事務局から連絡を入れること。**

【緊急時(感染が疑われる症状が出た場合)の対応】

①開催中、参加者に感染が疑われる症状が出た場合

- ・対象者は別場所へ隔離し、最寄の保健所に連絡して指示を仰ぐ
- ・対象者への対応はスタッフ1名がマスク、手袋着用の上で行う
- ・開催中の活動は中止とする
- ・対応したスタッフは自宅待機をして経過を観察する

②開催後、参加者の感染が判明した場合

- ・最寄の保健所に連絡して指示を仰ぐ
- ・対応したスタッフは自宅待機をして経過観察をする
- ・他の参加者へ連絡する

* マスクの取り扱いについて

- 1, 1日1～2枚の使用とする。就寝時に回収し、ビニール袋に入れて処分する。
- 2, 食事時のマスクは、マスク入れに必ず入れ飛沫乾燥を防ぐこと。
- 3, 食べ終わったら、直ぐにマスクを着用。
- 4, マスク入れは食事後回収し、アルコール消毒する。
- 5, 子ども達に正しいマスクの着脱をレクチャーする事。
- 6, 野外での活動中のマスクの使用については、出来るだけマスク無しで活動したい。
しかしながらマスクの着用については、個人の判断に委ねる。
適宜、水分補給するための休憩時間を確保する。
- 7, 他人のマスクには絶対に触れない事。